



2023年2月9日

三井化学株式会社

三菱ガス化学株式会社

三菱ガス化学がバイオマスポリカーボネート製品の 生産・販売に向けた取り組みを開始 ～三井化学がバイオマス原料を提供～

三井化学株式会社（本社：東京都港区、社長：橋本 修、以下、三井化学）と三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：藤井 政志、以下、MGC）は、2050年カーボンニュートラル実現の一環として、三井化学の [BePLAYER®](#) ブランドより展開予定のバイオマスビスフェノール A（以下、バイオマス BPA）を MGC のポリカーボネート樹脂（以下、PC）「ユーピロン®」*1 のモノマー原料として提供し、MGC にてバイオマス PC の生産・販売に向けた取り組みを開始しましたのでお知らせいたします。

三井化学は、2021年12月に日本で初めてバイオマスナフサを原料とする誘導品・製品群を、ISCC PLUS 認証制度に基づいたマスバランス方式*2 によって割り当て、バイオマス化学品・樹脂を販売しています。従来、植物由来原料から直接にバイオマス芳香族化合物を調製することが困難であったバイオマスフェノール・チェーン製品においても、順次製品の提供をはじめており、2024年3月までに BPA を含む全7製品*の認証取得と販売の開始を目指しています。このたび、バイオマス BPA を MGC に提供することとなりました。

※全7製品：（認証取得済）フェノール、アセトン、 α -メチルスチレン、BPA、

（認証取得予定）エポキシ樹脂、IPA、MIBK

MGC は、三井化学の ISCC PLUS 認証のバイオマス BPA を国内で初めて購入し、MGC 鹿島工場において界面重合法によりバイオマス PC の生産に向けた取り組みを開始いたします。また、MGC のグループ会社である鹿島ポリマー株式会社ではペレット賦形品や機能性コンパウンド製品、及び MGC フィルシート株式会社では高硬度高透明のシート製品や成形用フィルム製品の加工設備を用いることで、バイオマス PC に機能を付与することが可能です。さらに、三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社



ならびに三菱ガス化学トレーディング株式会社の全世界的な販売網を通じてこれらを市場展開し、製販一貫でバイオマス PC 製品のサプライチェーンを構築中です。

加えて、MGC 鹿島工場ならびに上述の MGC グループ会社においては、本年末までに ISCC PLUS 認証の取得を目指しており、取得後にはサプライチェーンを通じてマスバランス方式により、自動車、電気電子、光学、OA、半導体といった様々な分野にこれまで困難だったバイオマス PC 製品群を広く展開、提供することが可能になります。また、MGC が取り組んでいる「環境循環型メタノール」を用い、PC の全骨格を CO₂ 由来または植物由来とする計画を立てています。一方、海外においても、PC 素材の製造拠点であるタイポリカーボネート社（タイ）、三菱瓦斯化学工程塑料（上海）社（中国）で ISCC PLUS 認証取得を計画中です。

両社は本取り組みにより、サプライチェーン全体の温室効果ガス（GHG）排出量削減に貢献することで、カーボンニュートラル社会の実現を目指してまいります。

※1 ポリカーボネート樹脂「ユーピロン®」

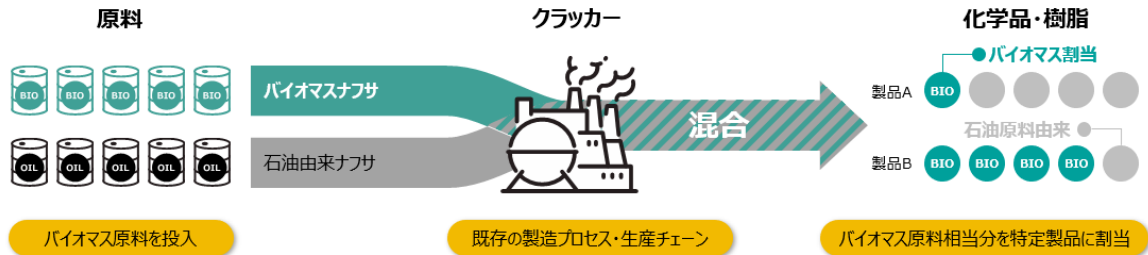
ユーピロン®は、長年の実績をもち、電子、OA、機械、光学、自動車、医療、保安、スポーツなど幅広い分野に使用されているポリカーボネート樹脂（PC）です。

※2 ISCC PLUS 認証に基づいたマスバランス方式

原料から製品への加工・流通工程において、ある特性を持った原料（例：バイオマス由来原料）がそうでない原料（例：石油由来原料）と混合される場合に、その特性を持った原料の投入量に応じて、製品の一部に対してその特性の割り当てを行う手法（環境省「バイオプラスチック導入ロードマップ」）のことです。

石油由来のプラスチック・化学品と物性が全く変わらないこと、これまで難しかった素材でもバイオマス化が可能となるなど、カーボンニュートラル社会の実現に向けて社会全体のバイオマス度を向上させるための重要なアプローチです。

■イメージ図



<ニュースリリースに関するお問い合わせ先> ※五十音順

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 (TEL: 03-6253-2100)

問い合わせフォーム https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja

三菱ガス化学株式会社 総務人事部広報グループ (TEL: 03-3283-5040)